



けいぱい

R-18







X



あやつり ^{ゆうと}結翔
・公安警察
・童貞(知識あり)
・ワーカホリック
・そして…^{まが}妖ハンター

夜空 ^{よぞら}シュミット ^{スパイ匠で}
・BND エージェント
・元男子 ♂→♀
・処女(男子だった頃はあり)
・そして…魔法使い

#1

あやかし
妖。

解決不可能事件を解決
するための特殊警察が
ある。

名づけて
公安特殊科。

先日二十二時頃、
■■市■■町で
正体知らずの少女と
変な影が目撃された。

秘密組織の公安警察の
中でも存在しない者
として、全員、恐るべき
異能力者たちであった。

例のインチキ霊媒
事件に関わった
可能性もある。
注意して解決せよ。

この者たちが会って
命を賭ける存在は
いわゆる解決不可能
事件の主役

あやつり。

はい。

あやつり ゆうと結翔
公安特殊科



今度は失敗は許されない。その意味をよく考えとけ。



今度外国のエイジェントが合流する予定だ。

歓迎することはないな。

好みに処分しろ。

万が一奴が作戦に邪魔する場合…

一応協力しな。



殺しておこう。

事故死なら無難だろう。

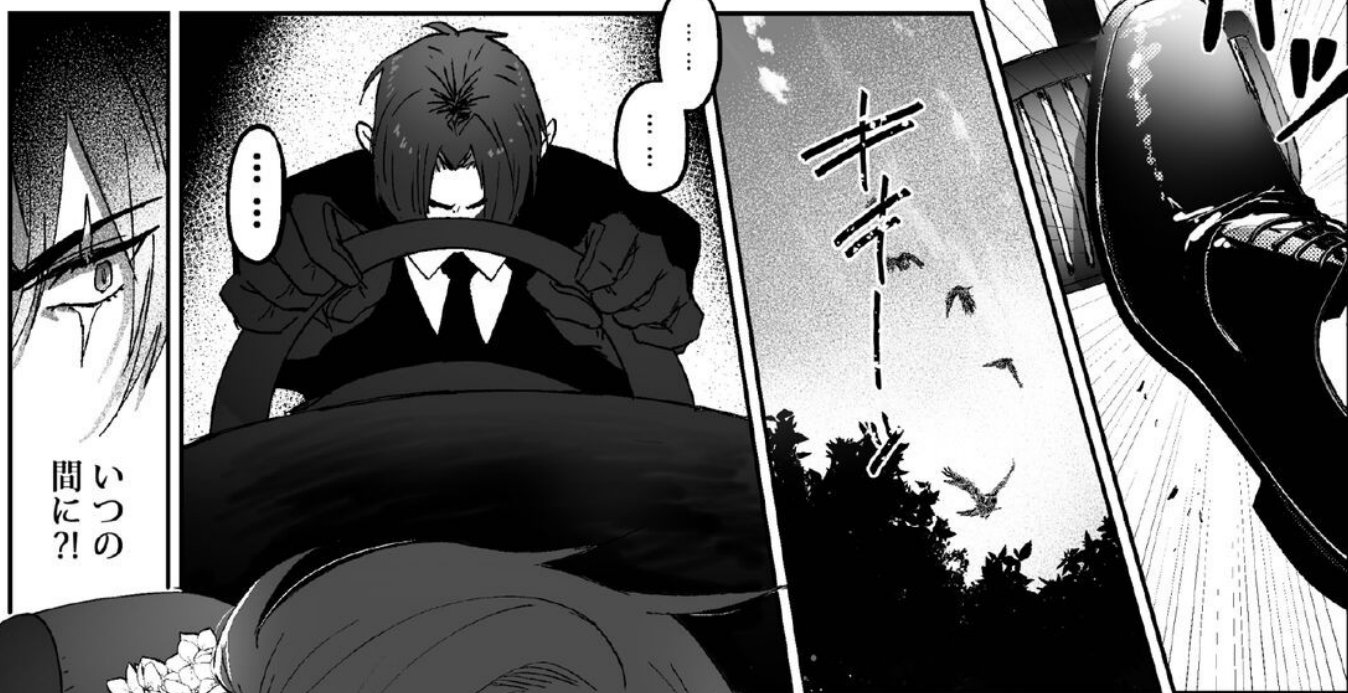
やつの
手口は随分
長い時間、
広い地域を
舞台に何も
知らない
者たちを
ごまかして
妖の器に
するものだ。

インチキ
霊媒事件…
甘く見る
ことでは
ない。
邪魔は
させん。

多分妹も、
その件に
関わって…



おーい。
こっち向いて
みる、ほら。



いきなり
止まると
びっくり
するだろ！

テムエ、ワカバ
のマークは付け
てないのか？

おんな
女?!

よぞら
夜空 シュミット
BNDエージェント



特にお前
みたいな

無防備の
女は。



だが！上官
から聞いてな
かったのか？
私は！



お前、所属は？
どうやってこの
車に乗った。
道にも迷ったか。

この車は
公務のため、勝手に
乗っちゃダメだ。



ふん。
確かに
お前から
見ると、
私は
怪しいかも
しれない。



なのに、
ん…

これ、なぜ…抜け
出そうとするほど
締め付けられる…



今回の
パーティー
なんだよ！

生気をな奴。



た、
助け…



弱い。
まるでカステラを
持ち上げるような
柔らかさだ。



ドイツの
エージェント…
確かに、
「ヴァルハラ」
だったか…

公安と同じく
妖事件を担当する
所だったな。

肉体の
能力は
一般人
以下か。

油断できない
魔術師たちだと
聞いたが…

こんな柔らかい
女を送るとは…
ヴァルハラは
なんのつもりだ…

色々
邪魔になる。



今回の任務は
日本ですか？

そう。
随分長く
なりそうだな。

使えそうな
エージェントの
データをくれ。



ん？このファイルは？

抹消されたエージェントのデータのようです。

ハッキングして。



ワウ、サムライ。

ちゃんと生きてるじゃんか。

うむ：他の理由で抹消形にされたみたいですね。例えば：



……



組織を脱走した、とか。



あいつにしよう。公安に連絡、書類の捏造、どっちでもいいからさ。

ふふ、心配すんな。お前も知ってるだろ。私は……

えっ、本当ですか、師匠？！
どうしてまたそんな……



伝説の魔法使いであり、伝説のスパイだ！



タ



やはり
油断しては
いけない!!



そつ心配するな。
私は有能なエー
ジエントだから、
役に立つ！



どんな手を
使っても
陥落させるっ!!

ああああっ、
テツメエ！

キ

い、痛い！
これは外して
話をしよう？

キ

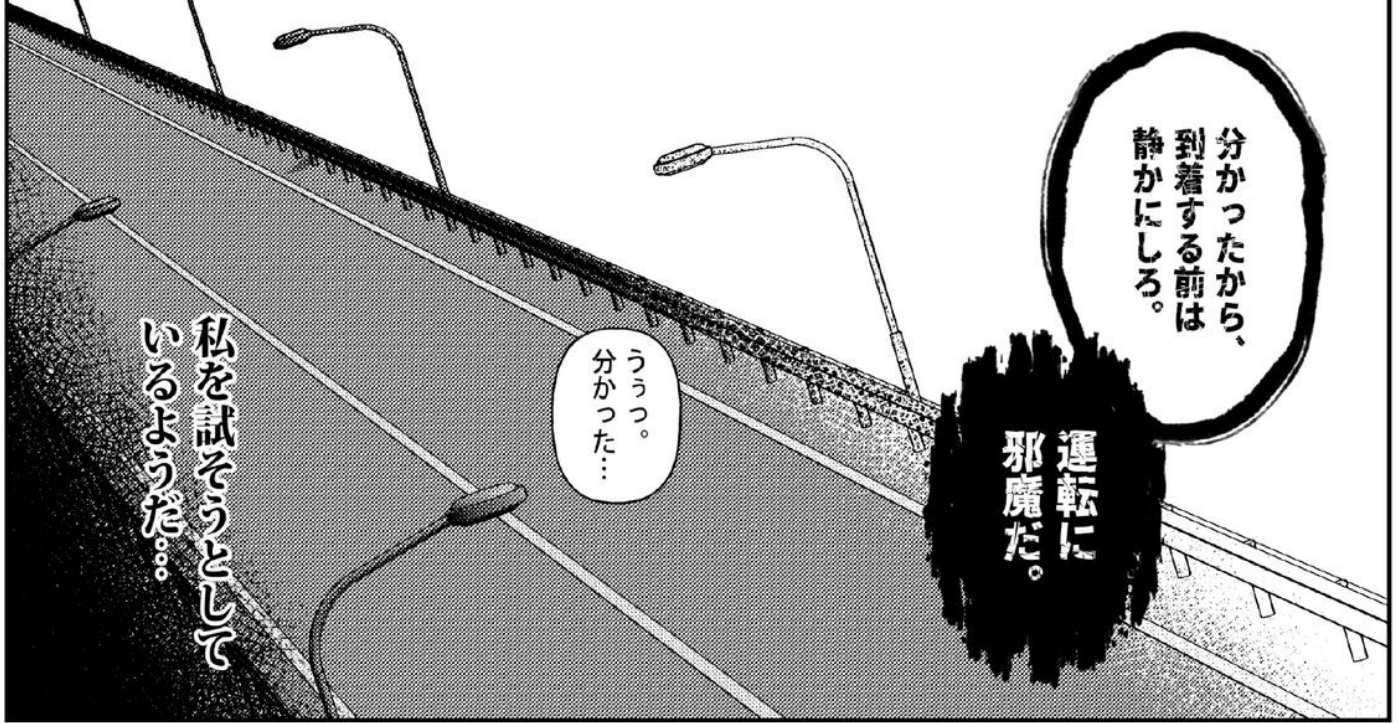
さてお前、
なんだかんだいって
女子に弱い所を
みると…

ドウテイ
だな？

ふ、服！
やばいっ
て…!!



どうやら
公安は





いこう。
最上階の
部屋だ。

おお、
5星!!

日本の公安は
金持ちって本当
だったのか!

それなら
すでに準備
している。

えっ?!



わあ!

これほどいい
部屋は久し
ぶりだな!

約30年
くらい?

ソファが
ふわふわ!
だな!

お前も休め。
長い時間
運転したか?

う?



日没の前
には帰って
くる。

そこで
大人しく
している。



好きにしる。

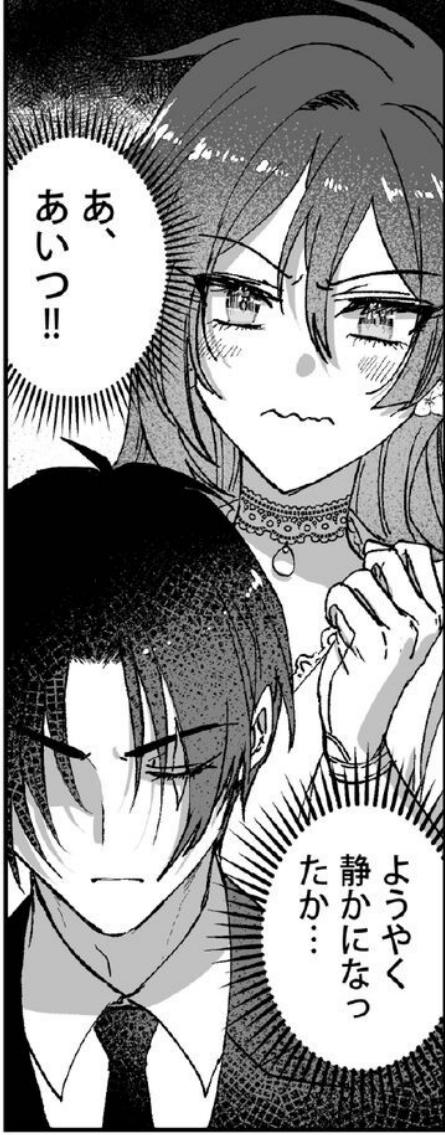


我慢する
もんか！

見回り用ファミリア
見回りしかできない。



……



あ、
あいつ!!

ようやく
静かになっ
たか……



捜査初日。

影と少女の
行方を探す。

証人によって
たどり着いた
場所は

放置された
廃工場の
入り口。





帰還

深夜
1時。



まるで準備された
ような待ち伏せ。



…お。。

今戻った。
起きてるか。



…

恨むだろう。





お前に言われる理由は...



様をみる！ポロポロだぞ！

... 腹減ってはないか。

一人で行くからこうなるのだ!!

ったく!! バカ!!



むむむ

これ脱いでみろ!

あるか...

毛み

毛み



おい。何をやる。

手当が必要だろうが!



あっっ



...

遅...

バカめ!!



いきなり
何の真似だ?!

サッ



卑怯者め。
逃げる気か?!

ちゃんと傷が
治るまで
逃すもんか!

?!



適当に
放置すると

みみ

興味を失って
帰るだろう...



足がとくに
痛そうだな

まあ、いいか...
こいつが脱いだ
わけでもないから。

私の魔力で
治して
あげる!



おい。

うん?

みみ

そ...んなに
さわると...



ちょっと触られた
くらいで…こんな
に大きくなって

これ
ヤバイ…

えらそうに
言っても
結局お前も

ものすごい
生命力…♡

気配を感じた
だけで
濡れた…

普通の
男の子
だな…♡

大変だ…

指入れて
ずぶずぶっしたい♡

こいつと
セックスし…
あれ？

いや…



ここいつ
なんだか

様子が
おかしい。



おい、
おい、
お前……



これ入れたくて
ムラムラするなんて……！

ドロオ





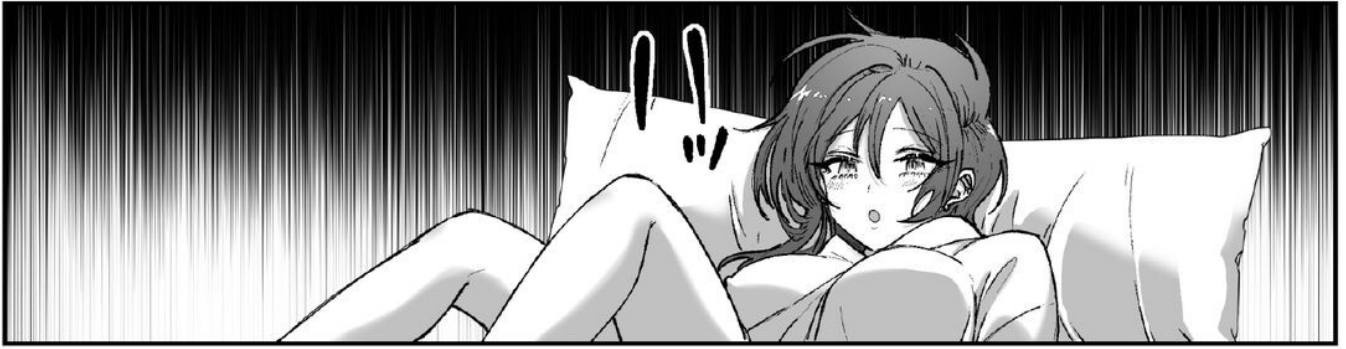
……

……

気を

失ったか

「まあ……」







わがままに
負けた。

二つ目。



言わなかったっけ？
私はハーフだ。
これは母の遺品。

ん？
これ？

めだつ？



ずっと
思ったが、
その着物は
少し目立つん
じゃないか？

どこで
買ってきた？



こつすると
普通に恋人…
いや、

夫婦に
見えると
思うよ。



確かにそんな接触は
夫婦の中でしかしないな…

夫婦か…



私もずっと
気になってた。
この傷。



痛そうだな。



妹がいた。



物心もつく前に親から捨てられて妹とたった二人きりの家族だった。

成長した後は組織の意思で別れ、遠い所で任務してきた。

でも私も妹も、いずれ再会する日を夢見てた。



お兄ちゃん!

これだけでできれば
幼い頃みたいにな
一緒にいられるよ!

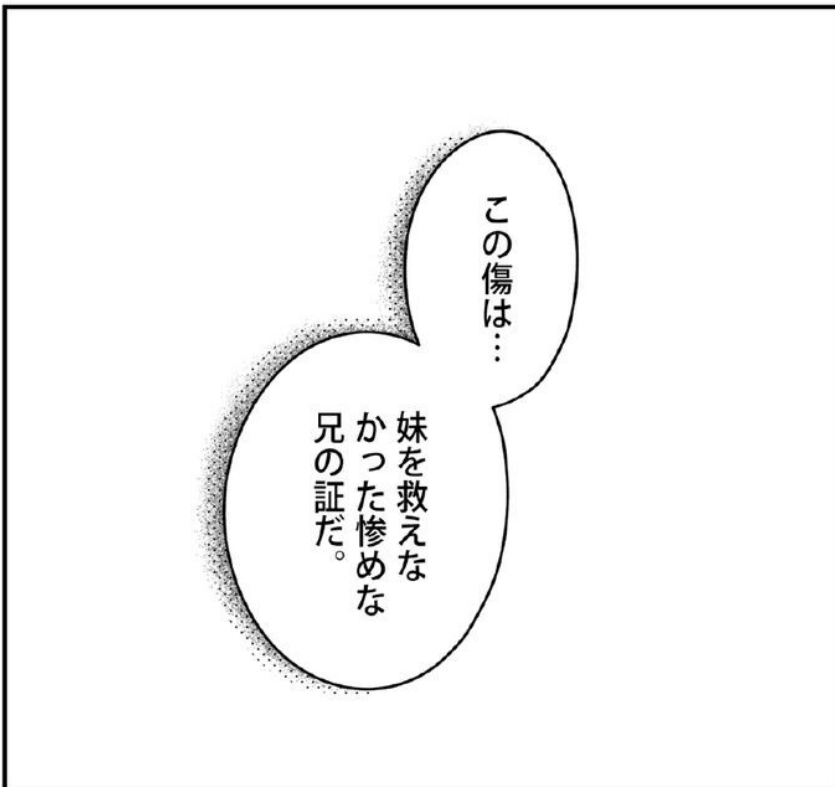


ゆい!



お兄ちゃん、

お兄ちゃん!



あ。だからか。

組織を脱走したの
はそのためか。

何を言っ。

……ならば
精一杯褒めるべきじゃないか。

惨め
じゃない。

こいつは、
一人だから。

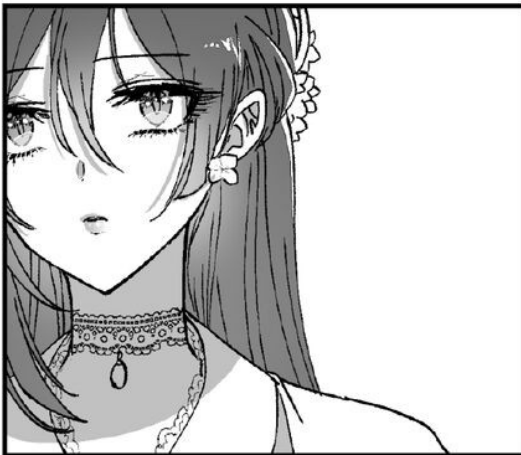
そんな
はずない。

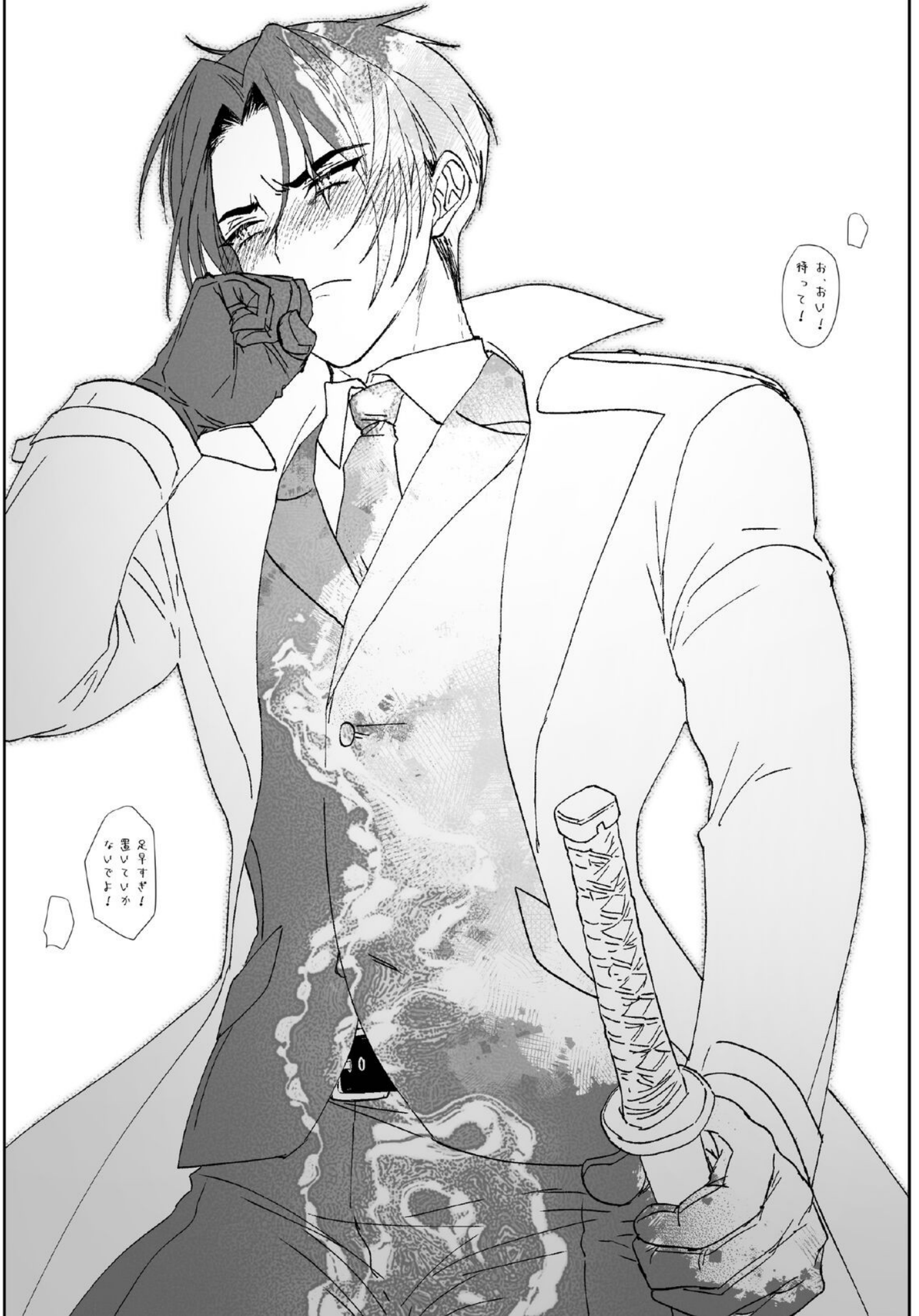
お兄ちゃん。

やっと、
また会えたね。

妹さんは最後、
お前に会って最高に
幸せだったはず。



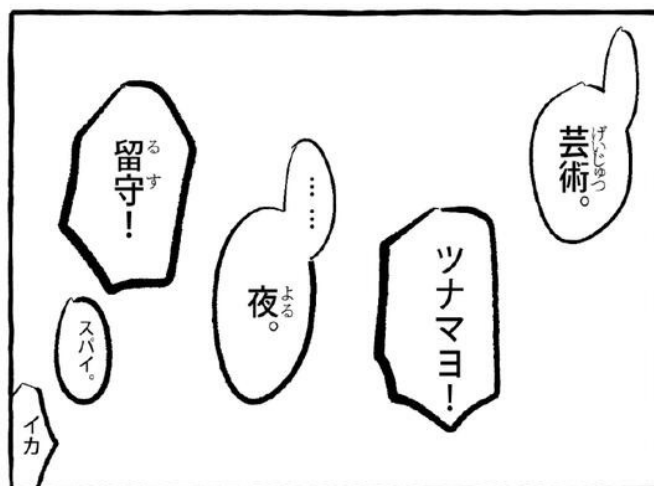




お、おい！
待って！

足早すぎ！
置いていか
ないでよ！

大人しく



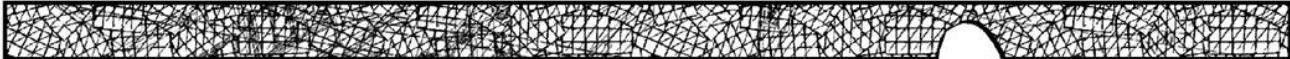
しりとりをした。



#2

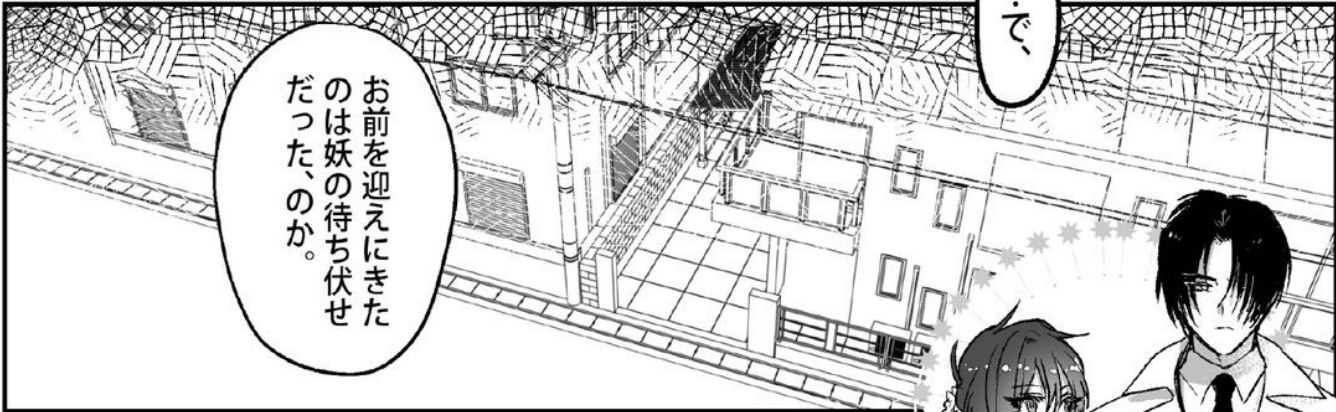
!

!!



…で

お前を迎えにきたのは妖の待ち伏せだったのか。



公安が私を消すつもりじゃなかったら、きっと誰かの計画だろう。そしてその誰か、とは…

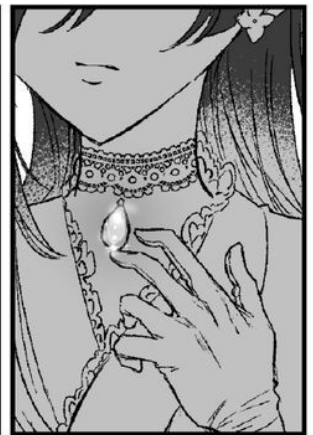
だったら…

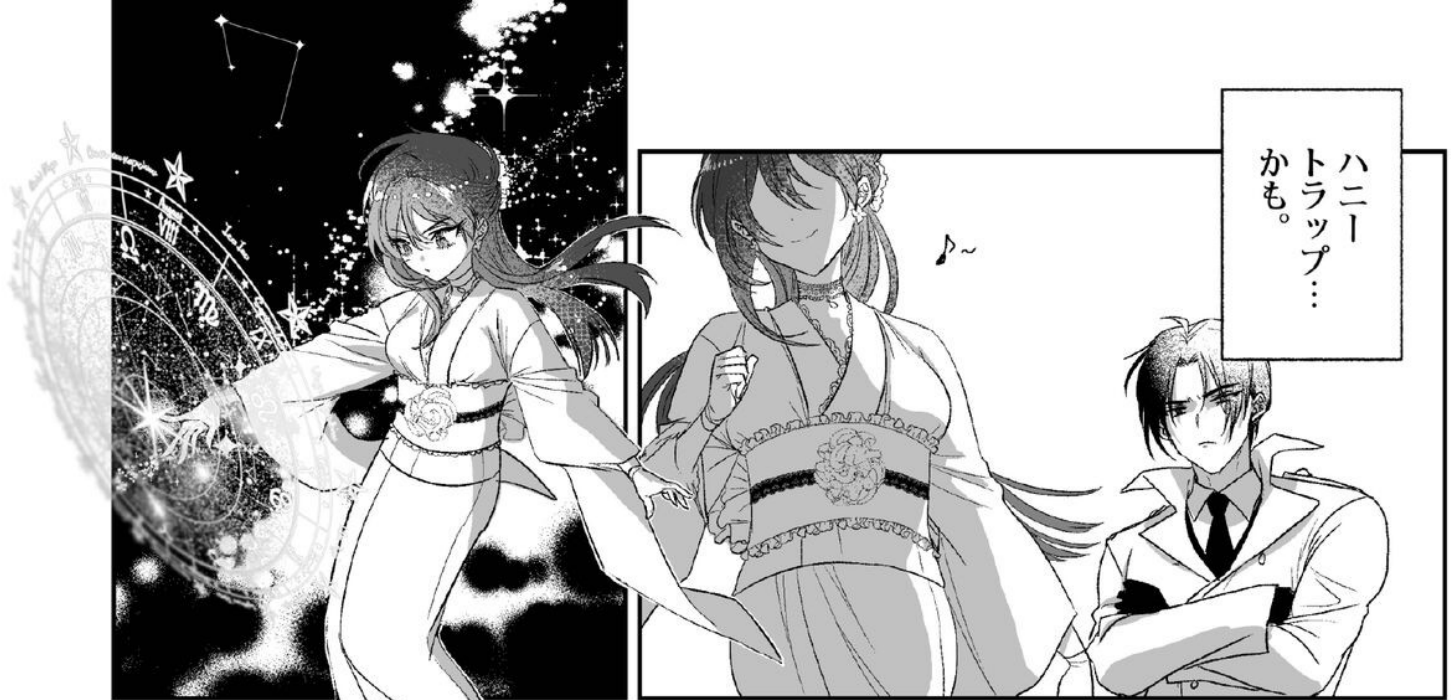
ああ。公安からもらった情報とは随分違った。

例のインチキ霊媒事件に関わった可能性が高い。

やつには古いカリがある。

…





ハニー
トラップ：
かも。



ふっ。



何がとびきりだ



いくら協力関係
だとしても…

初日から…



ト



正体を知らない
少女と一緒に
目撃されたと
言ったな？

うむ。
ああ。

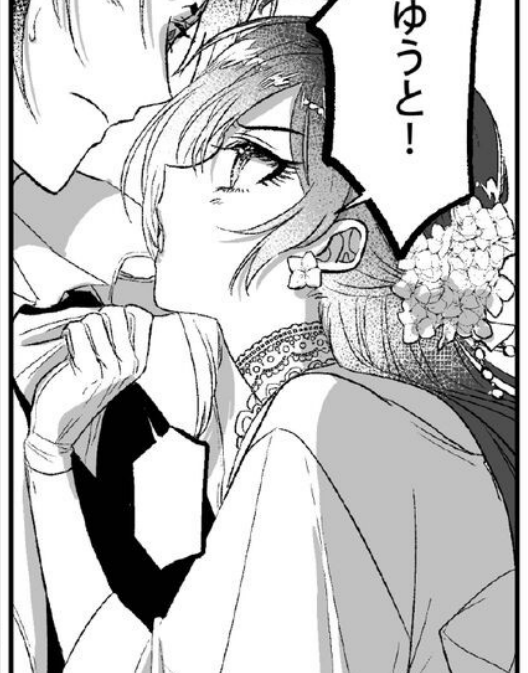
その女の子…



何だ、
魔術師。

魔法使いだ！

毎度
近い。



ゆうと！





飛ぶなら
飛ぶと先に言え!
バカト!

高いっ!!
バカゆうと!!



うあ...

た

何が問題だ...

魔術師は
空も飛べると
聞いたが。

高い所が
怖いかな?

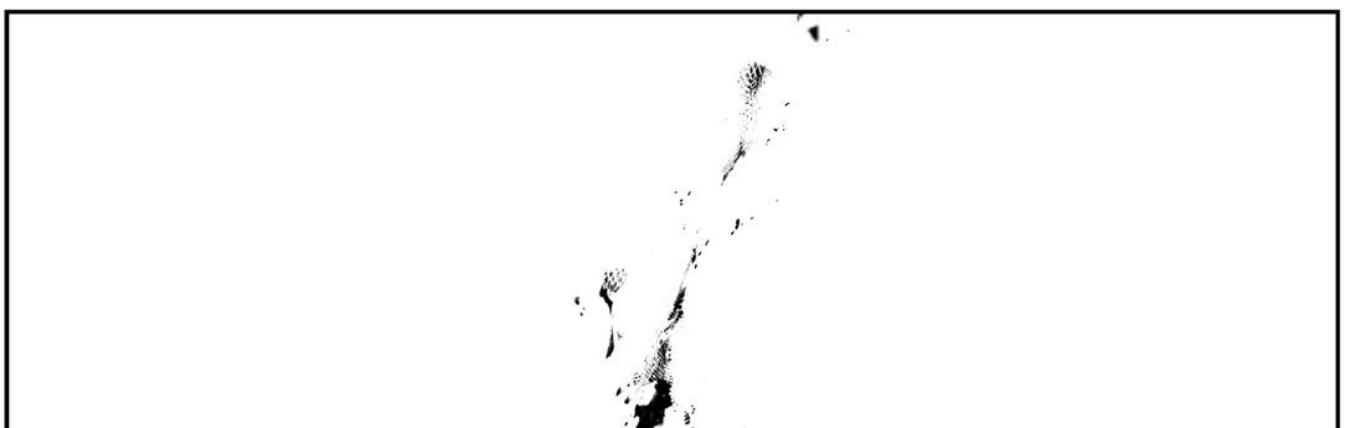


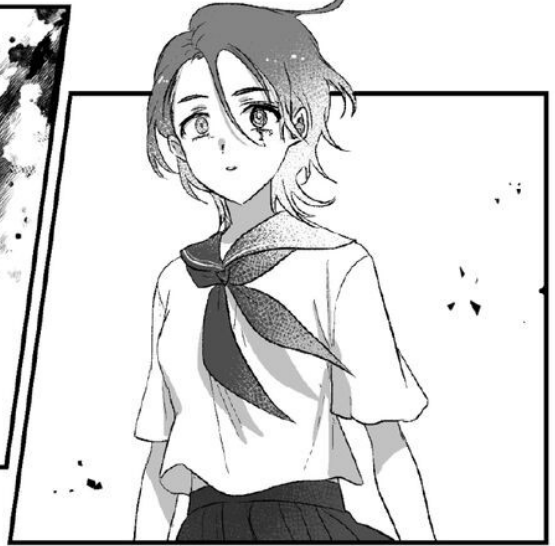
もうじゃなくて!
ちゃんとコミュニ
ケーションして!

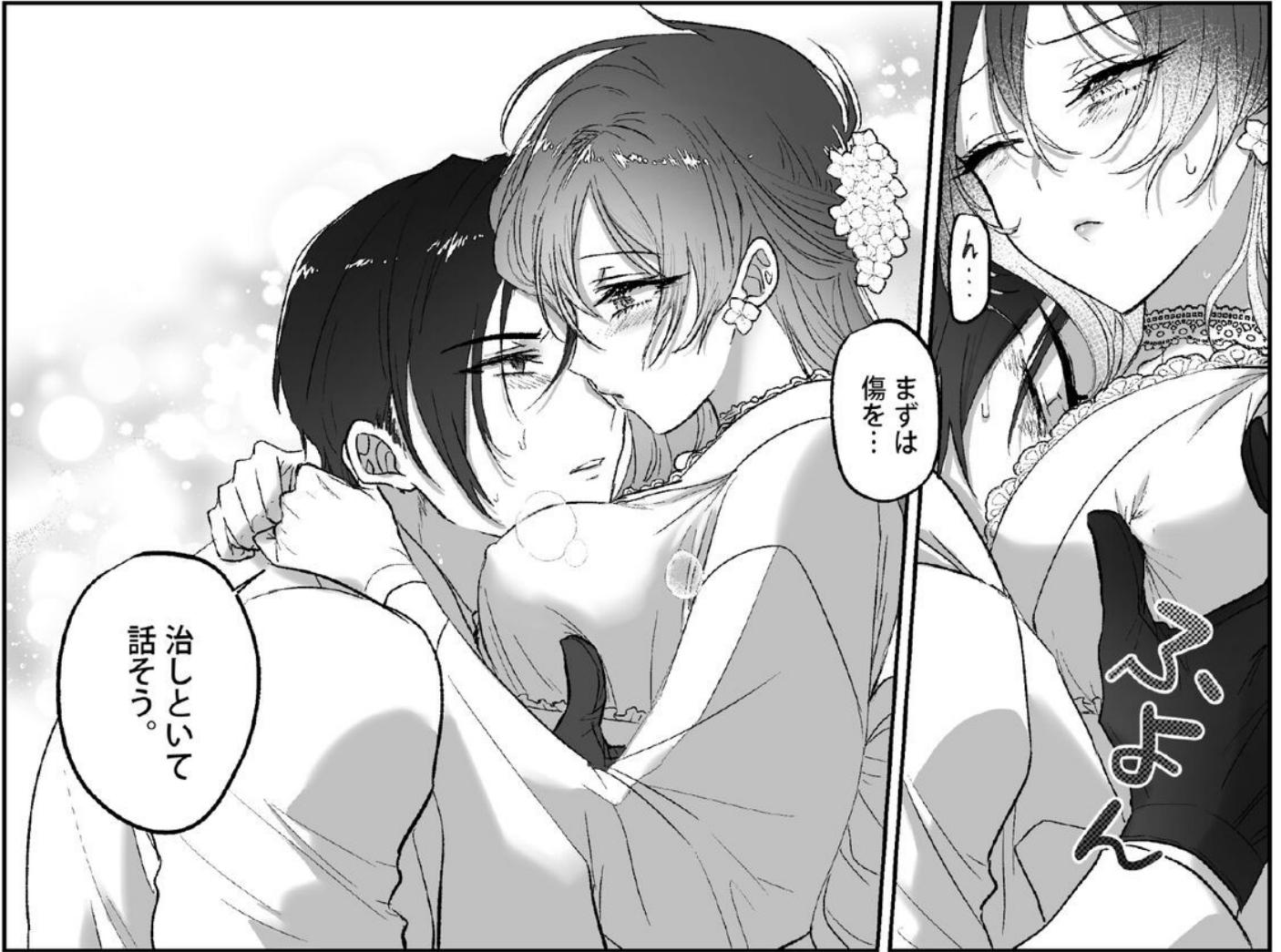
パートナー
と!

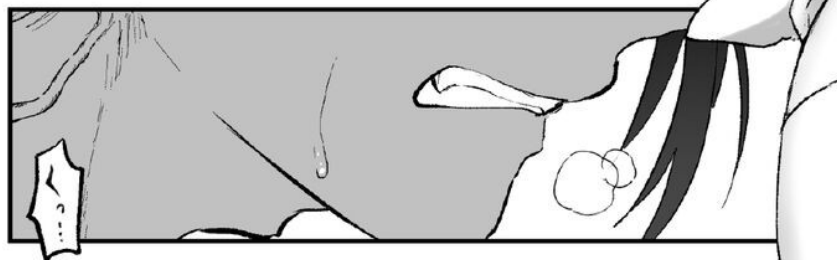












肌と肌が
触れ合う
ほど

魔力が届き
やすい...

誘惑するの...!!

く...!!

大体、
初日から…！



濡れて
脱げない…



まず濡れた体を
何とかしないと
風邪引いちゃう
かも…



うっ…

…
…
…

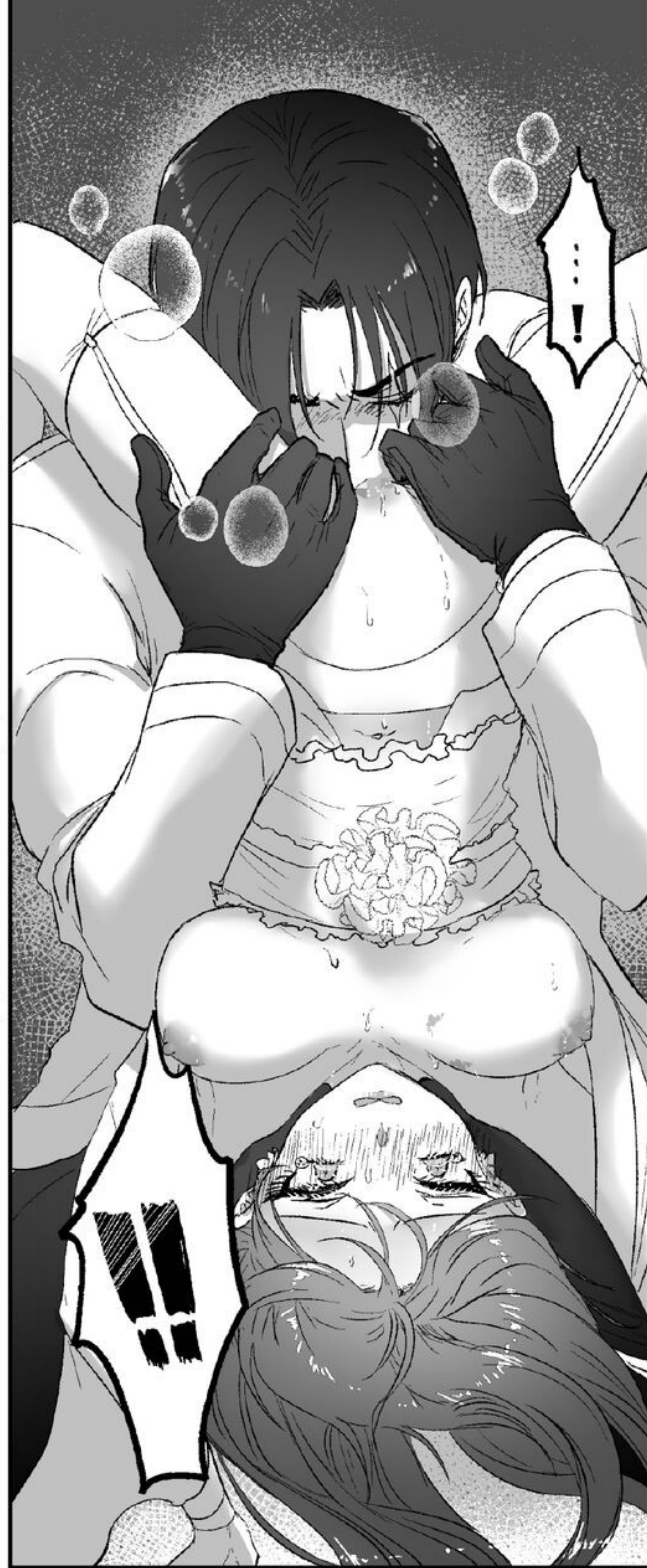
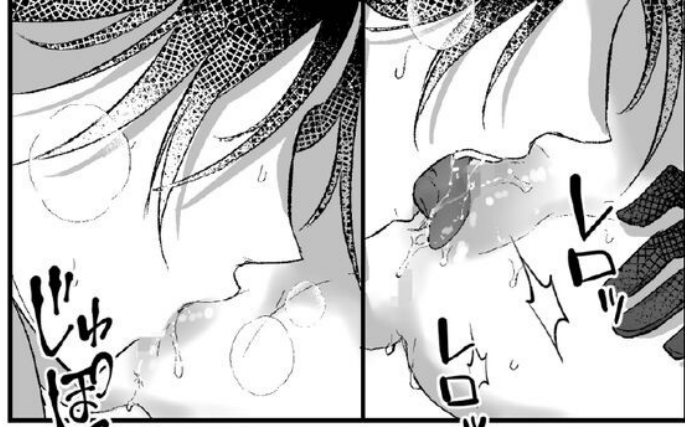


そのせいか、

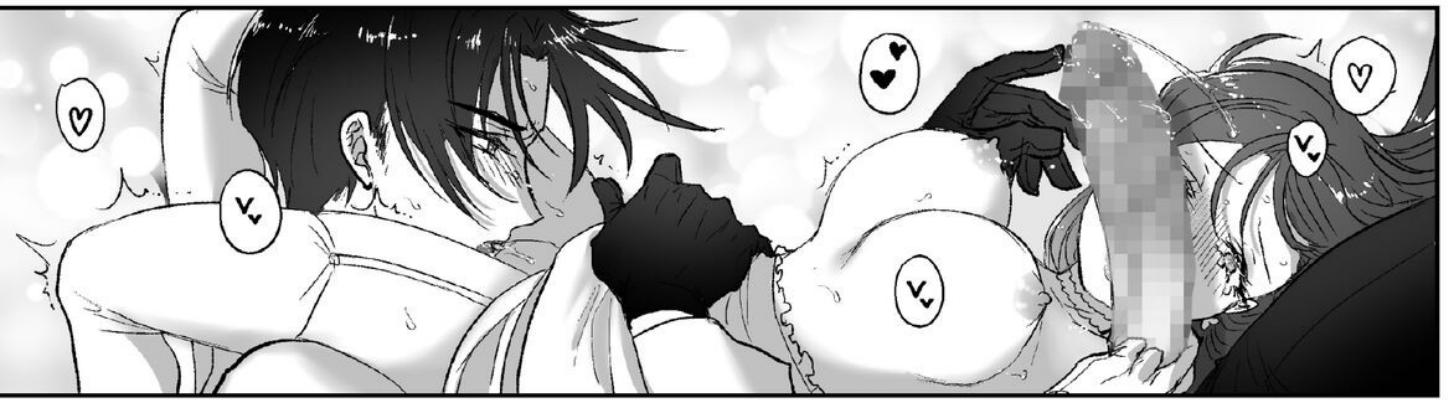
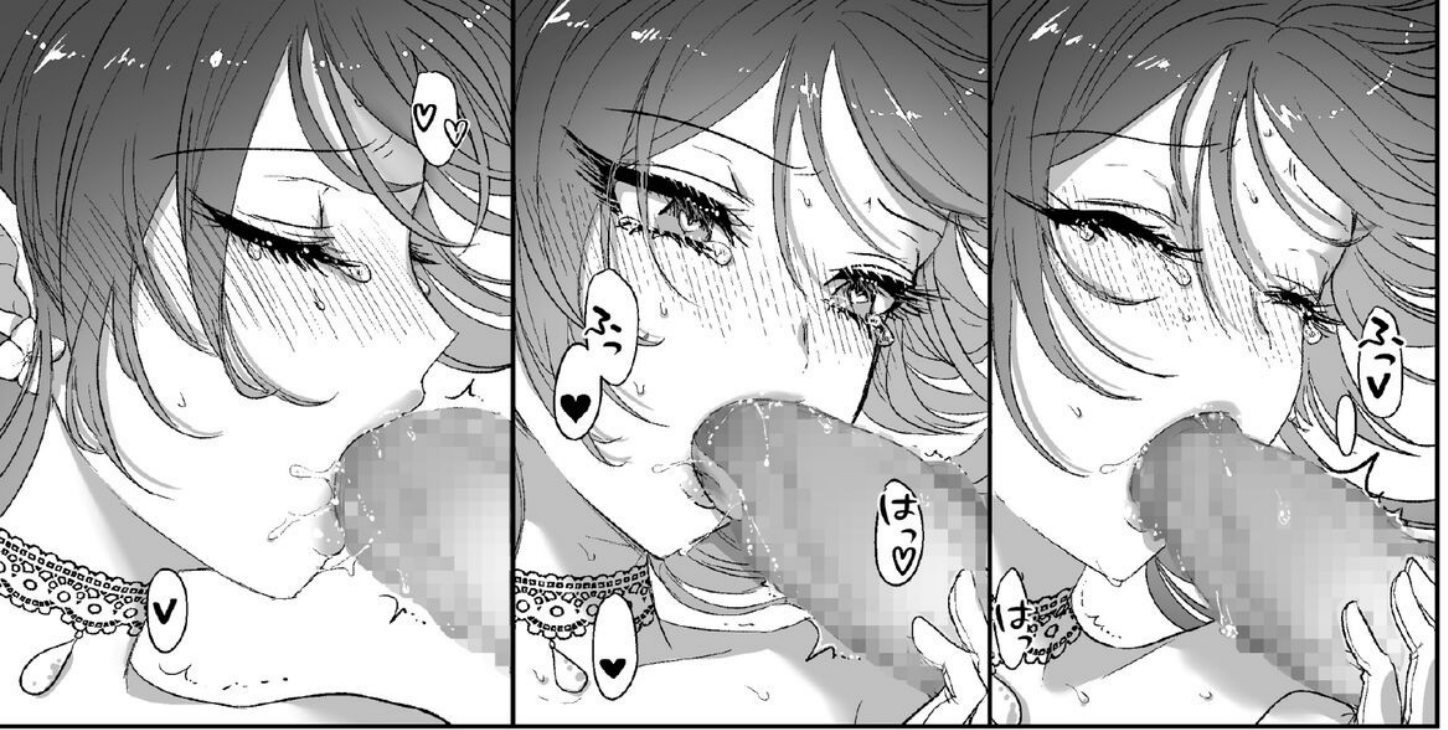
強力な魔弾か…













あれ？



ドウテイの舌で？



いく？
絶頂する？

愛液出して
いったて
しまうの？



へ、変だ！

この感じ、
もしかして
私、



やだ。

や、

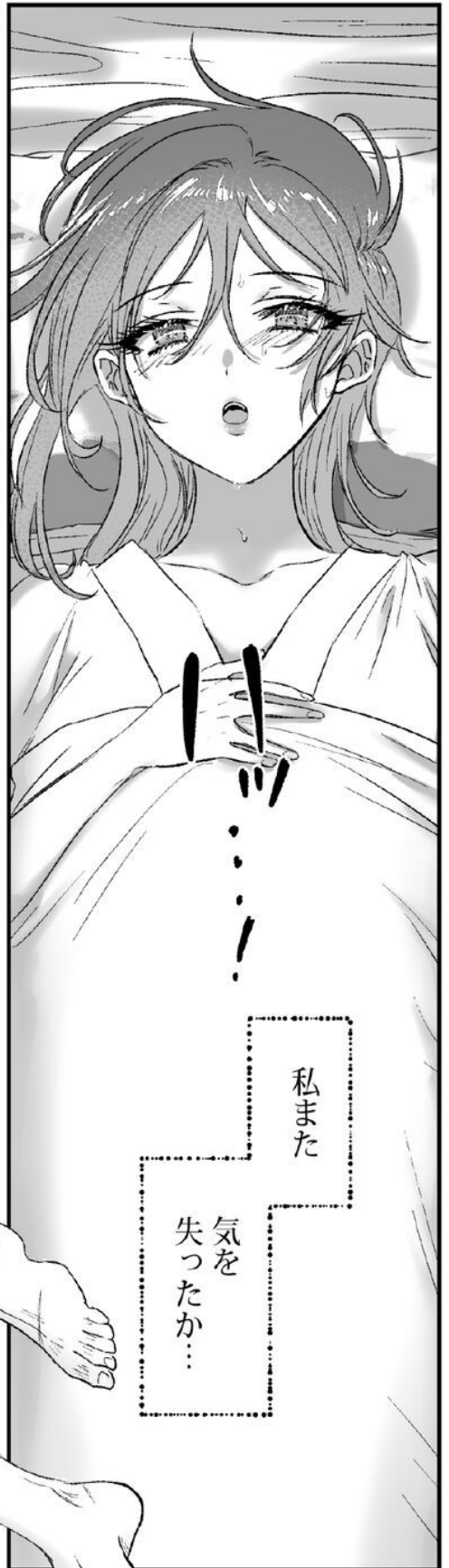
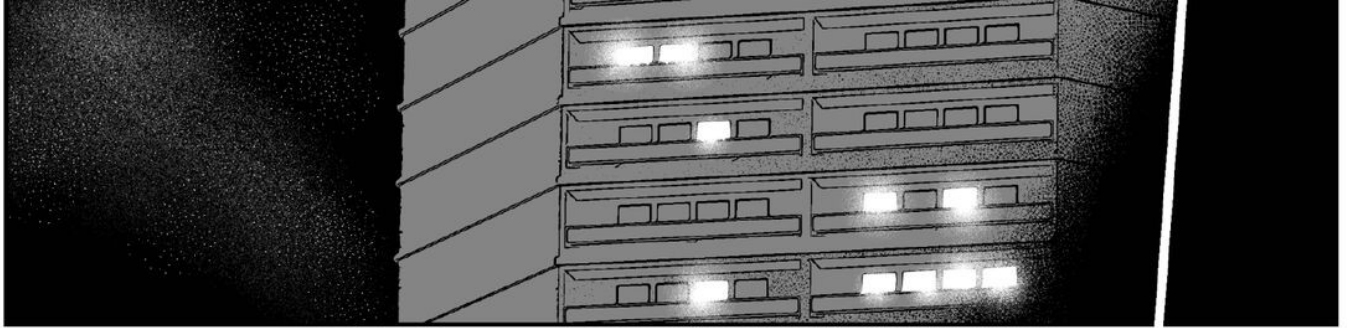


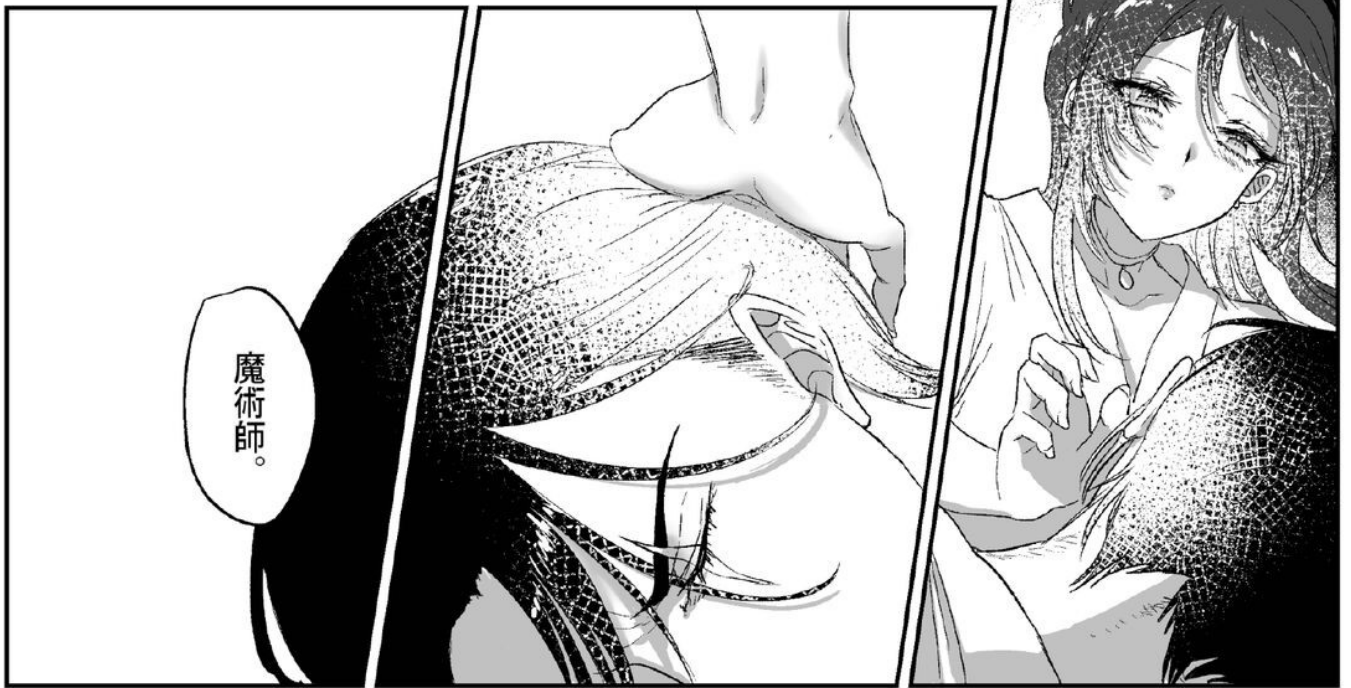
いきたく
ない。



いきたく…







魔術師。



お前は一体
私に何を望む…



怪異は
殺さないと
ならない。



ほったらかしては
周りを侵食し滅ぶ。

そうなる前に
消す、それが
原則だ。

公安警察として
異常事件を解決
するのは私の
義務だ。



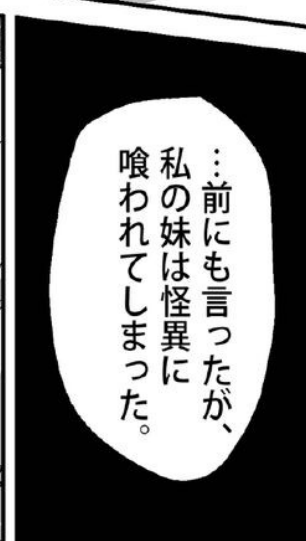
お前は
そんな私を
邪魔してる。



その時だった一度の例外を
除けば私はいつどこでも
徹底的の特殊警察だった。



私はそれを
殺さなかった。
しかしそれは
妹だったからだ。



…前にも言ったが、
私の妹は怪異に
喰われてしまった。



魔術師の
呪いか？

…だったら言え。
お前の目的を。



でもお前がそばに
いると私が誰だか
忘れてしまう。

頭がぼーっと
して何も考え
られない。

公安の命令か？
もしくは、
ヴァルハラ？

その時組織を
裏切った私を
消すつもりか？

あるいは任務の
邪魔をして公安を
落とすつもりか？



そんなはずない
じゃないか、
このバカ！

むしろ
逆だ！

日本に
来る前！

お前の顔を
初めて見た時





私はそのために
日本に来た。

怪異から深く
傷ついた男と
触れ合えば、

その男も救えると
期待しながら。

救う？

そう。

ゆっつと。

私は世界を
救いたい。

誰もなみだを
流すこともない、

みんなが幸せに
なれる世界を
作りたい。

ヴァルハラは
その理想のために
うごいてる。

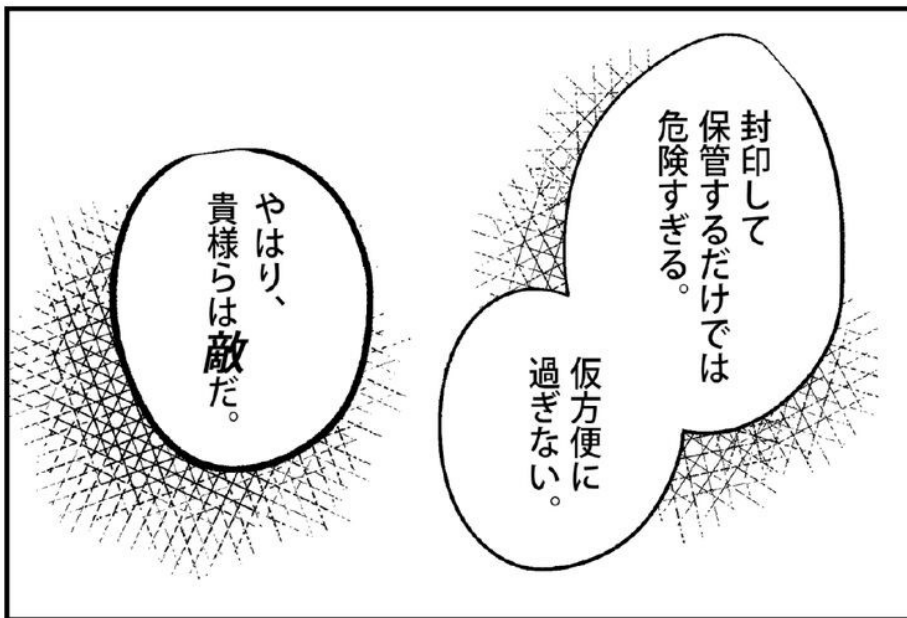


話が
大きすぎる…

お前ら
ヴァルハラ
の目的は
そんな
ものか。



そうかも
知れないな。



封印して
保管するだけでは
危険すぎる。
仮方便に
過ぎない。

やはり、
貴様らは敵だ。



しかし、

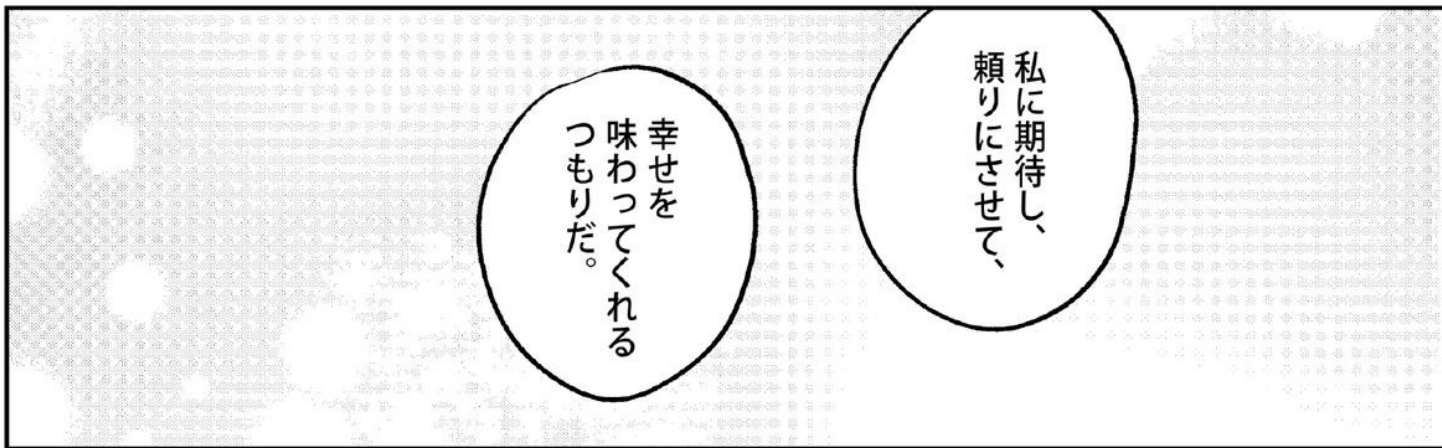
お前がまた幼い
少女を切ることは
いなくなる。





私が望むのは
お前も幸せに
なることだ。

お前に何を
望んでいるか、
と言ったな。



幸せを
味わってくれる
つもりだ。

私に期待し、
頼りにさせて、



そうしてまた
幸せが作られて、
そしてまた…

そうして幸せを
分かったやつが
また新しい
幸せを作る。




そうやって世界は
もっともよくなつて
完成されるのだ。

ありえなく、
とんでもなく、
笑えない狂人の
理想だな。




魔術師。
私はお前に
救われる
者じゃない。



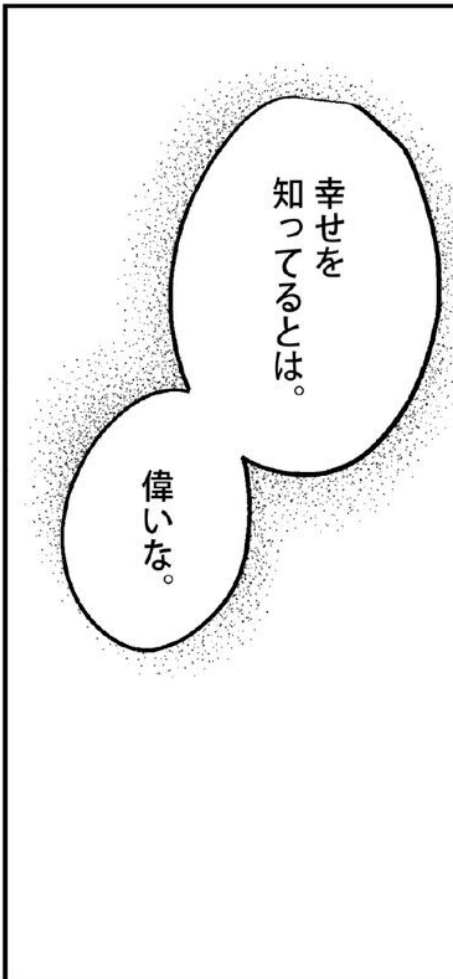
私はすでに
代えられない
幸せを得た。

妹の
そばで、な。




なのでその幸せを
感じて残ったのは
組織への義務だ。

ヴァルハラだけ
じゃなく、それを
邪魔するお前こそ
私のてきだな。



幸せを
知ってるとは。

偉いな。



私はそれが
どうしても
分からなくて、

100年も
まよってゐる
のよ...





封印？
保管？
世界平和？

ゆう…と？

そんなもんは
知らなくて、
興味もない。

他人の幸せを望むくせに
自分の幸せは知らない？

よく分からない
もののため、これからも
迷うつもりか？

また旅をして、

また虚しいやつが見えたら、

あの者にも
こう言う顔を見せるのか？



初めてだから
上手ではない。



他人の幸せを
望む前に、

まず、おまえが
人間としての
幸せを知れ。



それ故これから
お前を抱く。

一応先に
言っておくが、



そ、そう！
私、元々男…！

関係
あるか？

ピクピク
んっ

そこ、
弱っ…！



な、何だと？！
ちよ、待って！

うっ

ドゥーティ野郎が
生意気よ！



俺は…

ハア

ハア

ん…

俺は男…



はまっ

女の喜び？

ふう

ピクピク

ピクピク

そんなの
感じるはずが
ない！

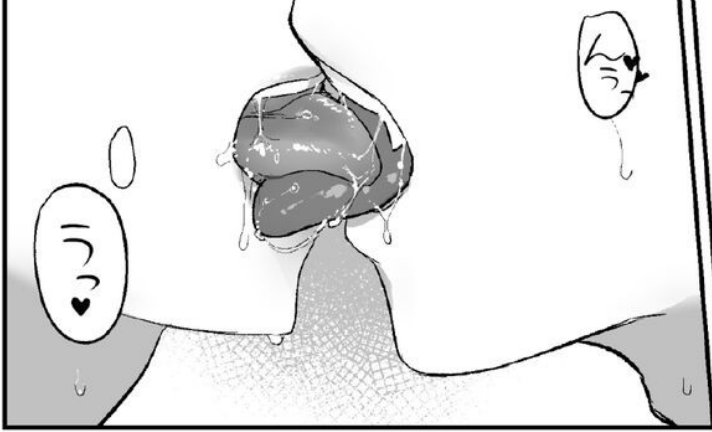


ゆっ、
と…

はまっ

そ、そう、
これは、

さっきの、
魔力不足な
だけ…！



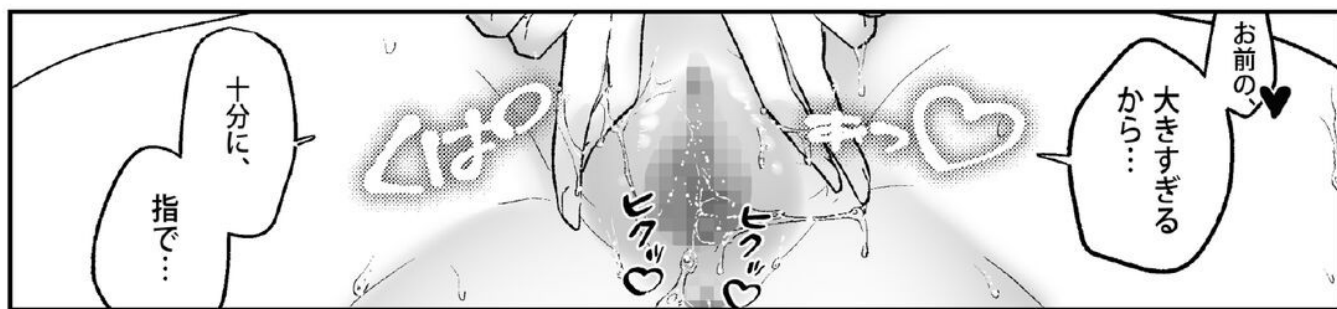
やっぱこいつの
チン〇挿入して
ビュービューされたい...♡













次回予告

ようやく体を重ねた二人

明日が来ることも忘れて
何度も何度もキスをする

自分の気持ち
を認めて

一緒にいたい、と
告げる

向かい合って笑えら
れた二人の

最初の任務の結末が
ついに！



あとがき

2023. 8. 17

こんにちは、ララブです。

本書をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。

人生で最初のエロ本なので、いろいろ不十分です。

特にエロの量が足りないので、下編を無事に描きたいと思います。

- この作品はフィクションです。実存の人物・作品・団体・出来事などとは関係ありません。
- この本は個人が非公式に発行したものです。
- 本書を転載・転売することを禁止します。
- 18歳未満の閲覧を禁止します。

● This is a work of fiction. Names, characters, places and incidents either are products of the author's imagination or are used fictitiously.

● This work is an unofficial publication by a private individual.

● Do not repost, resale.

● Adult only

